

# 知的財産戦略ビジョン に関する専門調査会

## 知的財産戦略ビジョンの 公表・拡散及び反響について

2018年7月

内閣府知的財産戦略推進事務局

■平成30年6月12日 知的財産戦略本部 総理の一日 総理大臣 首相官邸ホームページ

[https://www.kantei.go.jp/jp/98\\_abe/actions/201806/12chizai.html](https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201806/12chizai.html)



## 総理ご発言

「本日は、知的財産推進計画2018とともに、新しい知的財産戦略ビジョンを決定いたしました。

革新的なイノベーションにより、Society 5.0に向かって世界が劇的に変化しつつある中、知的財産の重要性はますます大きくなると同時に、多様な価値を反映して、その在り方も大きく変化しつつあります。

こうした時代の変化を先取りして、新しい価値を構想し世界に発信する。我が国がこれからも最先端の知財立国として世界をリードしていくとの決意の下、中小企業やベンチャー企業への支援強化、そして創造性あふれる人材の育成、さらに我が国の質の高い農作物、コンテンツの海外展開支援、また、クールジャパン戦略の更なる世界展開など、関係省庁は一丸となって大胆かつ具体的な政策を果敢に実行に移していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。」

## ○野田総務大臣

人口が減少する我が国においては、コンテンツとデータという知的財産が未来の鍵を握る。地域密着の魅力的な放送コンテンツやイノベーションを生み出す源泉としてのデータはますます高い価値を持ち、こうした知的財産をフルに活用していくことが必要。

インバウンド需要を喚起する放送コンテンツの海外展開、それを通じた地方の活性化、地域がソリューションを生み出す基盤となる情報銀行などのデータ流通環境の整備などを推進していく。

## ○齋藤農林水産大臣

品種やブランド名称などの海外流出が問題となり、農林水産業に関する知的財産対策が重要になってきている。GI法の改正、植物品種の海外への流出防止を始め品種保護制度のあり方の検討、農業データ連携基盤の整備によるスマート農業の実現、JASの戦略的な活用等農林水産関係規格の国際化などに取り組んでいく。

## ○丹羽文部科学副大臣

柔軟性のある権利制限規定を含む改正著作権法の適正な運用環境の整備、関係省庁等と連携したインターネット上の海賊版対策、大学等における大型産学共同研究のマネジメント体制の整備への支援などを通じたオープンイノベーションの推進などに取り組んで行く。

## ○西銘経済産業副大臣

コネクテッドインダストリーズの実現に向けて、所要の法改正を行いデータの不正取得に対する差し止めの創設、JISの対象へのデータ、サービス等の追加、中小企業等の特許料等の一律半減などの措置を講じた。今後、ベンチャー企業の知財戦略の構築支援や、AI活用による特許行政のスピードと品質の向上等を推進する。デザインを企業価値向上のための経営資源として有効に活用する、「デザイン経営」に資する法制度や奨励施策の検討を進める。

## ○渡部検証・評価・企画委員会座長

世界で日本の知財戦略を展開するためには、国際的に共感できるビジョンを発信し、実効的施策を打ち出すことが重要。省庁を横断した強力な取組体制、ベンチャーや大企業からのスピノフで新たなビジネスモデルを創出し知財価値を高める仕組、AIやブロックチェーン技術による知財管理自身を革新する取組が必要。

## ○中村検証・評価・企画委員会座長

Society5.0やSDGsなどの新しいテーマは、知財戦略の変更も求めている。今回取りまとめたビジョンを踏まえて、政策のバージョンアップをお願いする。

## ○川上本部員

海賊版サイトに対する緊急対策について、3サイトとも自主的にサイトを閉鎖したが、この影響は顕著であり、アニメ販売サイト、電子書籍販売サイトから売り上げが急上昇したという話を聞いている。ニコニコアンケートでは、海賊版サイトへのアクセスを遮断することに対して、圧倒的に支持されている。法的な整理議論を必要とすることは幾つかあるが、海賊版サイトへのアクセスを遮断できる法制化を進めていただきたい。

## ○五神本部員

知的財産は、価値あるいは商品そのものであり、経済メカニズムを担う核心部分であるが、国際的なデータ利活用のルールが鍵となる。世界のパワーバランスを踏まえた上で戦略的に連携し、周到な計画のもとで、「知的財産戦略ビジョン」にも盛り込まれたSDGs実現とリンクさせたデータ利活用の姿を生かし、国際ルールづくりを日本がリードする体制づくりを急ぐべき。

## ○小林本部員

「知的財産戦略ビジョン」において複雑な社会変化を総括して将来社会を予想し、将来社会における「価値」、またその価値を生み出す「仕組み」、その実現に向けた課題へと、体系化されたデザインの必要性が提案されたことは、新風が吹き込まれた感がある。リアルとバーチャルを組み合わせ、より高い付加価値を生み出すビジネスモデルを構築するためにも、産官学が一体となった日本独自の「価値の設計」への取組を推進することが必要。

## ○林本部員

知財戦略ビジョンに掲げている「コンテンツ創造活用エコシステム」の実現のため、著作権に関する、権利情報の集中管理、包括的権利処理、収益の分配を三位一体で省庁横断的に制度を整備し実行されることを注視していきたい。

## ○竹宮本部員

知財が重要な財産となり、インターネットがコンテンツ環境に影響を及ぼす中、知財をいかに利活用していくかのルールとプラットフォームづくりが大事。このため、大きな組織に属さなくてもリスクから守られるサービスが期待できる新しいプラットフォームを期待。コンテンツの利活用については、アーカイブのルールとともに、著作権処理の大きな流れをつくり、原画アーカイブの場所と整理のための人員配置を行い、利活用を始めていくことで、個人管理を離れた公的管理へと提案していくことができる。

## ○日覺本部員

経団連でも知財の提言を公表したが、国際競争力があり、SDGsなどの社会課題を解決するSociety5.0の実現に向けたビジネスを展開していくために、従来よりも広い意味での知財戦略を構築するべきと強調している。今後は、戦略的に技術力を生かすことができる革新的な「ビジネスモデル」をつくることや、SDGsの視点も反映させて、日本のすぐれた製品やサービスが国際的に正統に評価されるよう、「ルール」の形成に積極的に関与することなど幅広い活動が重要になり、こうした考えは「知的財産推進計画2018」と「知的財産戦略ビジョン」の問題意識と共通する。

## ○山田本部員

地方創生のためには、中小企業がより主体的に価値を創造し、知財を活用するための支援が必要。地方において距離が近い各種行政機関や金融機関へ、ビジョン、計画を周知し、個人や企業はどう動くべきか、地方において行政機関は地方創生のためにどうかじ取りをすべきかを真剣に考え議論を進めるとき。

## ○渡邊本部員

「知的財産戦略ビジョン」及び「知的財産推進計画2018」において、ニーズとシーズをマッチングするための知的資産プラットフォームが提案され、そこに格納する情報の一つとして経営デザインシートの活用が提案されていることを評価したい。オープンイノベーションの促進を通じて知財の創出を活性化するために重要であり、このようなプラットフォームがあれば、コーディネーター的な人材が活躍する機会も増える。

平成30年6月12日、知的財産戦略本部会合を開催し、知的財産戦略ビジョンを決定し、同日夕方、知的財産戦略ビジョンの本文等をホームページに掲載



## 政策会議

[▲ トップページへ](#)

[トップ](#) > [会議等一覧](#) > 知的財産戦略本部

## 知的財産戦略本部

内外の社会経済情勢の変化に伴い、我が国産業の国際競争力の強化を図ることの必要性が増大している状況にかんがみ、知的財産の創造、保護及び活用に関する施策を集中的かつ計画的に推進するため、平成15年3月、内閣に知的財産戦略本部を設置したところです。  
なお、これまでの流れは [沿革図](#) をご覧ください。

[▼クールジャパン戦略についてはこちらをご覧ください。](#)

### 【お知らせ】

- [インターネット上の海賊版対策に関する検討会議\(第3回\)](#)の開催について(H30.7.10)
- [知財創造教育推進コンソーシアム検討委員会\(第4回\)](#)が開催されました。(H30.7.5)
- [インターネット上の海賊版対策に関する検討会議\(第2回\)](#)が開催されました。(H30.6.26)
- [インターネット上の海賊版対策に関する検討会議\(第1回\)](#)が開催されました。(H30.6.20)
- [知的財産戦略ビジョン\(PDF形式:3.653KB\)](#) [知的財産推進計画2018\(PDF形式:1.253KB\)](#) を決定しました(H30.6.12)
- [知的財産戦略ビジョン及び知的財産推進計画2018のポイント\(PDF形式:1.160KB\)](#) [知的財産戦略ビジョンのエグゼクティブサマリー\(PDF形式:154KB\)](#) [知的財産戦略ビジョンのサマリー\(PDF形式:2.485KB\)](#) [知的財産戦略ビジョンの目次\(PDF形式:150KB\)](#) [知的財産戦略ビジョンのイメージ例\(「価値デザイン社会」における人やビジネスのイメージ例\)\(PDF形式:81.3KB\)](#) を掲載しました(H30.6.12)
- [知的財産戦略本部会合](#)が開催されました。(H30.6.12)
- [知財のビジネス価値評価検討タスクフォースの報告書\(PDF形式:61.893KB\)](#) [報告書別冊\(経営デザインシート 記載要領\)\(PDF形式:2.297KB\)](#) [報告書別冊\(参考資料\)\(PDF形式:3.159KB\)](#) [及び報告書概要\(PDF形式:665KB\)](#) を掲載しました(H30.6.12)



## 知的財産戦略ビジョンの公表

- 本文
- ポイント
- エグゼクティブサマリー
- サマリー
- 目次
- イメージ例

知財ビジョンは、下記のとおり、政府方針決定に記載されている。

## 【知財全般】

- 「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）p.126  
データやAIの徹底的な利活用による「Society 5.0」時代の経済成長を実現するため、中長期の社会展望と知財システムの在り方を提示する「知的財産戦略ビジョン」（平成30年6月12日知的財産戦略本部決定）に基づき、毎年「知的財産推進計画」を決定し、知財・標準化戦略を推進する。

## 【経営デザインシート】

- 「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）p.126  
「経営デザインシート」（平成30年5月9日知的財産戦略本部）等の普及、投資家向けの報告書や金融機関による事業性評価等での活用促進を通じて、企業が知財の価値を評価しつつ将来のビジネスを構想する取組を推進する。

## 【ナレッジプラットフォーム for SDGs】

- 「統合イノベーション戦略」（平成30年6月15日閣議決定）p50  
我が国の技術シーズ等の知的資産と国内外のニーズをマッチングするプラットフォームの構築に向けた取組を進め、我が国の民間企業等が、科学技術イノベーションを活用した国際貢献を自立的に行うことを推進し、2030年以降も持続的な国際社会の構築を牽引
- 「拡大版SDGsアクションプラン2018」（平成30年6月15日SDGs推進本部決定）p7  
知的財産戦略本部会合にて『知的財産戦略ビジョン』を決定し（6月12日）、関係府省との連携の下、ビジョンの今後の検討課題に位置付けられている「SDGs等実現のための知的資産プラットフォーム」（グローバルな仕組み及び中小企業を主対象としたローカルな仕組み等）を構築し、国内外に発信。

## 【次世代のコンテンツ創造・活用システム】

- 「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）p142  
ブロックチェーン技術等の活用によるコンテンツの活用を促す新たな仕組の構築に加え、海賊版対策の強化を図る。

## 【海賊版対策】

- 「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太の方針)(平成30年6月15日閣議決定) p34  
インターネット上の海賊版サイトに対して、あらゆる手段の対策を強化する。
- 「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定) p127  
「インターネット上の海賊版サイトに対する緊急対策」(平成30年4月13日知的財産戦略本部・犯罪対策閣僚会議決定)を踏まえ、正規版流通の拡大のほか、サイトブロッキングに係るものを含め、必要な法整備の在り方や国民への著作権教育を含む方策について検討する。

## 【クールジャパン】

- 「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定) p142  
「知的財産戦略ビジョン」(平成30年6月12日知的財産戦略本部決定)に基づき、地域文化の背景等ストーリーに基づく発信方法を見だし、国別、属性別の嗜好や市場性の違いの分析を深め、活用する。在外公館、ジャパン・ハウス、国際交流基金やJETRO等の活用、クールジャパン官民連携プラットフォームを通じた新規ビジネスの組成、クールジャパン機構による資金供給などの取組を有機的に連携させ、商品・サービスの海外展開や観光消費の促進、ビジネスインバウンドを強化する。  
専門人材・高度デザイン人材・高度経営人材の育成や外国人材の受入れに向けた制度整備・産学官プラットフォームの構築、海外における日本語の普及、外国人を含む地域プロデュース人材が活躍できる環境づくり等を推進する。また、海外の先進事例も参考に、先端的なICTを活用するなどして、日本ファン等へ継続的に働きかけ、長期滞在の促進等を図る。
- 「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太の方針)(平成30年6月15日閣議決定) p28  
従来の外国人材受入れの更なる促進：クールジャパン関連産業の海外展開等を目的とする外国人材の受入れを一層促進するための方策や、我が国における外国人材の起業等を促進し、起業家の受入れを一層拡大するための方策について検討を進める。
- 「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太の方針)(平成30年6月15日閣議決定) p34-35  
コンテンツや衣食住を含む日本固有の魅力を創造して、発信し、商品・サービスの海外展開やインバウンド消費の拡大を図るクールジャパン戦略を深化させ、地域プロデュース人材の育成や国内外拠点の活用などを進めるとともに、国民が適正な対価で興行・イベント等を享受できる環境を整備する。



知財ビジョンは、決定・公表後、下記のとおり、各種メディアで取り上げられた。

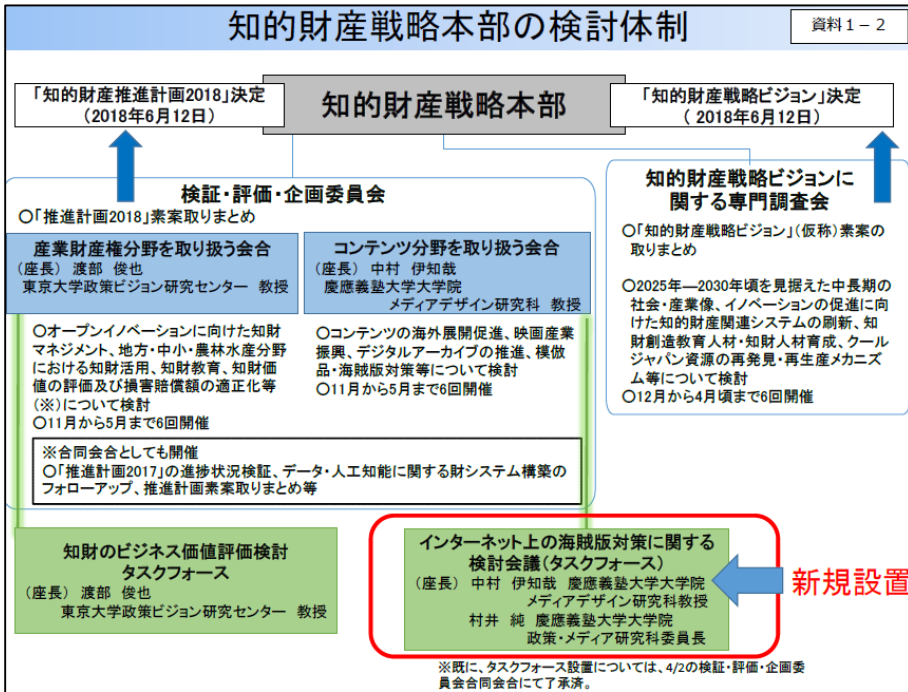
- 政府、ベンチャー特許取得後押し 審査要件緩和 知財推進計画を決定：日本経済新聞(2018/6/12)  
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO3165779012062018PP8000/>
- 映画・アニメ制作にAI活用を 政府の知財戦略ビジョン(2018/6/12)  
<https://this.kiji.is/379214503667467361?c=39546741839462401>  
<https://www.nishinippon.co.jp/nnp/politics/article/424052/>
- 政府、知財戦略ビジョン策定 「価値デザイン社会」実現へ次世代システム構築(2018/6/13)  
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00477105>
- コンテンツ創造、ブロックチェーンやAI活用を 政府「知的財産戦略ビジョン」(2018/6/13)  
<http://www.itmedia.co.jp/news/spv/1806/13/news101.html>
- 政府の知的財産戦略ビジョンでブロックチェーン技術の活用について言及 ～適正な対価還元で「三方よし」が実現できるシステムの構築へ(2018/6/19)  
<https://crypto.watch.impress.co.jp/docs/news/1128473.html>

知的財産戦略本部／検証・評価・企画委員会の下に、

「インターネット上の海賊版対策に関する検討会議」を設置し、海賊版対策を検討開始  
(第1回：平成30年6月22日、第2回平成30年6月26日、第3回平成30年7月18日)

## 知的財産戦略本部の検討体制

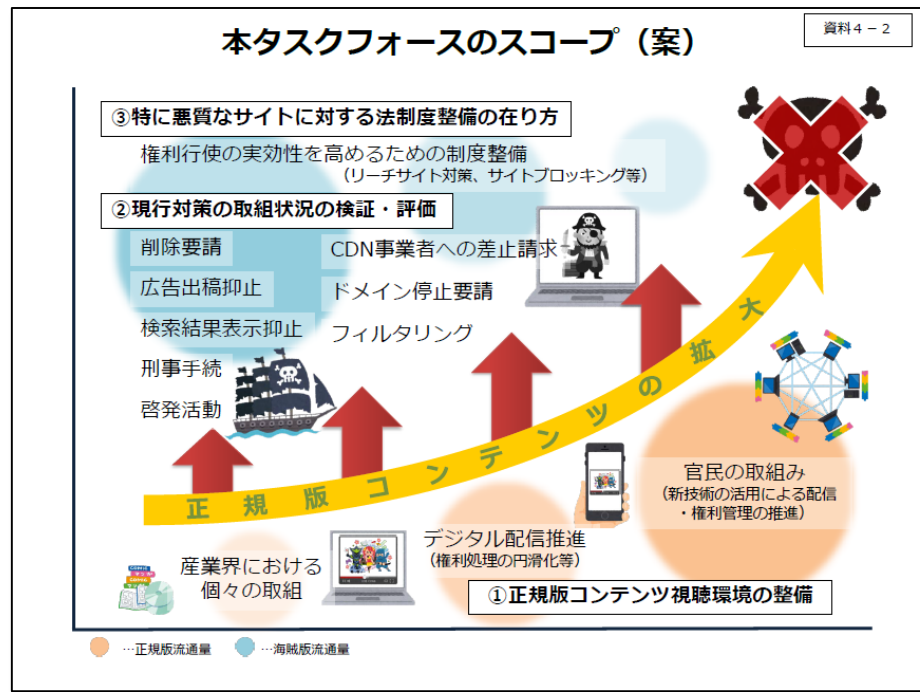
資料1-2



(第1回会議資料1-2)

## 本タスクフォースのスコープ(案)

資料4-2



(第1回会議資料4-2)

意見交換したところ（一部抜粋）：

WICI-Japan、大阪大学講義、日本商工会議所 知的財産戦略委員会、JEITA、日本知的財産協会、内閣府出向者勉強会、知財SDGs研究会、北海道大学工学系大学院、文部科学省、RIETI、ほか

主な指摘：

（ビジョン全体について）

- 夢があって良いビジョンである。ぜひ実現するように政府として推進してほしい。
- 方向性、目指すべき姿に賛同する。今後、どのようにしたらイノベータティブになれるかを議論してほしい。
- 一歩も二歩も先のことに目を向けられているのだと感心した。
- 知財ビジョンのように進むと知財がビジネスに貢献できる形になるのではないか、明るい未来になるのではないかと思った。一方、いかに具体的に落とし込むかが重要。
- 新しい社会的価値という視点から、新しい制度のデザインを考えていくことが重要。
- 日本もまだまだやっていると勇気づけられた。一方で、中小企業は、夢ばかり語ってられない状況。
- 価値デザイン社会における知的財産という素晴らしいものができたが、絵に描いた餅にならないようにしてほしい。
- 日本の知的財産戦略ビジョンが時代に合わせて変わっていくことはよくわかった。
- 日本がこのようなビジョンを持っていることが勇気になり、各企業のモチベーションにつながる。
- 資料は詳細まで記述があるが、反面可読性が低く一般向けとは言い難い。一般向けに周知・広報していく予定があるか。

## (価値デザイン社会)

- 「価値デザイン社会」は賛同するが、それをどのように実現するのか。
- 「価値デザイン社会」は、未来に向けて、示唆に富む。一方、知財は排他権であるが、折り合いをどのようにつけるのか。
- 「価値デザイン社会」の「価値」は1つの価値ではなく、多様な価値であることが、説明を聞いて初めてわかった。もう少し説明を工夫した方が良いのではないか。
- アマゾンなどのいわゆるデータ独占企業と、「価値デザイン社会」はバッティングしないか。
- 価値デザインは我々にとっても非常に重要。情報をどのように上手く集めるかがこれからの日本の課題と感じている。価値デザインが、グローバルでも戦う力になるとの良い示唆を頂いた。
- 日本の目指すべき一つの方向なのかもしれないと思った。一方、中小企業の視点に立つと、コンセプトは理解できても自分のビジネスに活かすのが難しい。現場に実装することについて配慮をお願いしたい。中小企業にも価値デザイン社会に参加意識の持てる配慮をお願いしたい。

## (デザイン経営)

- ビジネスモデルを何で保護し、活用していったらいいのかを皆さんと議論したら面白いと思う。
- デザイン経営ができる人材はどうやって育てたらいいか悩んでいるところ。そこを噛み砕いてお話しただけるとありがたい。
- グローバルビジネスで戦争真っ只中の業界は、まさに、経営戦略をどう描くかが大変なところ。経営戦略を描ける人材の育成が喫緊の課題。

## (日本の課題)

- 知財ビジョンはありたき姿だと思うが、中米の動き・規制・ルール形成等の議論もされているか。
- 米中関係（貿易摩擦・安全保障・知財）、標準化・ルール形成を巡る競争など、現実に起きている課題の議論がもっと盛り込まれると良い。
- 少子高齢化や、年金、国民医療費の問題など、日本の現実社会の問題はどう解決するか。
- 日本は「大国」という認識か。米中ほどの大国はあきらめて、中程度の大国、名脇役くらいを狙うべきでは。もし「日本は名脇役になる」というコンセプトを政府が打ち出せば画期的、このままだと脇役にもなれない可能性。
- 意識している世界が先進国に偏っていないだろうか（需要主導について）。
- 時間軸とは別に、地域軸でも市場環境が大きく異なり、採るべき戦略は異なってくる。
- 個社がやるべきことと、国が政策としてやるべきことの、ある程度線引きを考えるべきではないか。

## (競争力)

- データ・AIにしっかり取り組むことが大事。そうしないと、グーグルなどに勝てないので、政府と一緒に頑張っていかなければいけないと感じた。
- 中小企業は大学発ベンチャーと関わることが多いので、この点を考慮して、オープンイノベーションの加速をしていただきたい。
- 20~30代の経営者と話をしていると、自分たちが成功したい・日本を豊かにしたいという両輪で経営をしている。シリコンバレーのように立身出世だけの人とは違う。「日本を豊かにしたい」と考えている点は、日本のベンチャーの大きな競争力と特色である。有意な若者がイニシアチブをとって日本の競争力を創っていけるような社会を創っていなければならぬ。
- シーズとニーズのマッチングは重要だが、マッチングをしてからPOC（proof of concept）まで行った後、グローバル化するためのインフラが足りない。

## (多様な働き方・人材育成)

- 人生100年時代、働き方改革、兼業・複業において、個人がどう活躍できるかは大事。多様な働き方ができる一方、知財の問題も増えるのではないか。また、多様な働き方ができない、またはしたくない人はどうするのか。
- 兼業に関して、大企業から中小企業への流動の話がある。ポイントは、いきなりフルではなくて、まず兼業という形で流動化するというものである。中小企業からすると、週に1日でも大企業から兼業で来てもらえるメリットがあるし、大企業側からも外部に出て視野を広げることになる。
- 誰でも、ユーザーからクリエイターになれるということだが、一方で誰もが紛争に巻き込まれる可能性が増すことになるが、どのように調整するか。
- 人材育成に関して、未来を考える力など、いろいろと提案されているが、実際は難しいのではないか。どのように推進していくのか。
- 第4章の日本の特徴は、受け継がれていないものも含まれているように感じる。このような日本の美徳の重要性を認識しつつ、一方で多様性やグローバルも求めるとなると、人材育成はどのようにすべきか。
- 脱平均が重要ということだが、日本はどちらかということ出る杭が打たれる教育をやっている。教育から変革しないといけないのではないか。

## (知財)

- 知財は今後「独占」から「共有」へということだが、独占を求める者もいるはずで、どのようにバランスをとっていくのか。
- オープンイノベーションの進展や知財の共有は、その方向だと思うが、利益配分が今後問題になるのではないか。

## (クールジャパン)

- 日本の魅力のストーリー化による付加価値向上、コンテンツのブランディングがこれから重要になると思う。
- クールジャパンについて、外国人の嗜好に合わせることに加え、嗜好を踏まえた新たなコンテンツを開拓することも重要。
- 地方の良いものが東京に伝わらない。地方と海外が直接つながるのも難しい。また、地方にいると自分の住む場所の魅力がわからない。第三者の視点を入れることも重要。また、座学のみではなく、実体験をもってわかってもらうことも大事になる。
- クールジャパンを支える外国人の集積・活用について、新しい具体的な検討と感じた。今後どのように進めていくのか。
- 日本のビザは短すぎるように思う。日本ファンをふやしていけばもっと賑やかで楽しい国になるのでは。